

# 性教育におけるピアサポートの活用に関する研究

尼子華子

## 1. 研究の背景

近年、思春期の望まない妊娠や性感染症が問題となっている。それに対して、専門家が行う性教育を補完する手法としてピアサポートが導入されているが、その効果については十分に検証が行われていない現状がある。

## 2. 研究課題

本研究では、ピアサポートは望まない妊娠や性感染症を減少させる効果を有するのかという問題意識のもと、以下の4つの課題を設定しその効果と課題を探索した。第1は、思春期における望まない妊娠や性感染症増加の背景要因を明らかにすることである。第2は、ピアサポートの定義と歴史を明らかにすることである。第3は、ピアサポートの理論的背景を明らかにすることである。第4は、ピアサポートの効果を明らかにすることである。第5は、ピアサポートの課題を明らかにすることである。

## 3. 性に対する規範意識と性教育の現状

日本では、性行動は従来、婚姻関係を前提としていたが、近年は婚姻外であっても双方の同意により行われるようになった。それに伴い思春期世代の性行動に対する抵抗感はなくなり、性交経験年齢の低下やセックスパートナーの増加が起こった。しかし、既存の性教育は現状を捉えられていない。そこで、専門家だけでなく仲間を利用した支援が実施されるようになった。

## 4. ピアサポートの定義と実際

### 4-1 ピアサポートとは

ピアサポートとは、年齢や社会的地位が似た者が行う支援であり、思春期は親よりも友人から大きな影響を受けるといふ特徴を利用して、より確実に支援することを狙いとしている。

### 4-2 ピアサポートに関する先行研究

知識の獲得等の効果が報告されているが、結果は必ずしも一致してない。また、既存の行動理論に依拠しながら理論的説明がなされているものの、現在説明に用いられている行動理論は行動の可能性は予測できても直接行動と結びつくかは疑問が残るという問題点がある。そこで、行動理論のレビューを行い、情報-モチベーション-行動スキルモデルを用いてピアサポートの効果と課題を検証することとした。

## 5. 調査の概要

調査対象はピアサポーターおよびピアサポーター養成者であり、調査方法はインタビュー形式とした。

## 6. ピアサポートの効果

### 6-1 動機づけに対する効果

ピアサポートは、避妊及び性感染症予防に対する動機づけについては、行動意図までの変容にとどまり、

実際の行動が変容するかどうかは不明であった。

### 6-2 知識の獲得に対する効果

行動変容に必要な知識の獲得と行動変容については、知識を提供することによって情報収集行動を起こすことは可能であったが、実際の行動が変容するかどうかは不明であった。

### 6-3 行動スキルの獲得に対する効果

行動スキルの獲得と行動変容については、ピアサポートによって、行動スキルを用いて行動を起こそうとする意図を発生させる効果があったが、実際の行動が変容するかどうかは不明であった。

## 7. ピアサポートの課題

### 7-1 動機づけに対する課題

支援の結果、予防行動の変容はなく、予防行動意図の変容にとどまっていたことが課題である。避妊や性感染症予防の場合は行動が起きない限り予防とは言えないため、ピアサポートを反復する等の改善が必要である。

### 7-2 知識の獲得に対する課題

ピアサポートだけではなく、必要な時には専門家からも知識を受けられるようにすることが必要である。専門家と連携し対象者のニーズを満たすとともに、必要に応じて専門家の支援が受けられるようなシステム作りが望まれる。

### 7-3 行動スキルの獲得に対する課題

行動スキルについては、動機づけと同様、ピアサポート活動のほとんどが1回だけであったため行動スキルを習得させ行動変容につなげることは困難であった。同一の対象者に複数回支援可能な体制を整える必要がある。

## 8. 提言

### 8-1 ピアサポート活動に対する提言

ピアサポートは避妊や性感染症予防に対して行動変容を起こさせるほどの効果を保証するものではないということを支援者は認識する必要がある。ピアサポートは性教育を補完するものという位置づけであるため、そこに結果を求めるのではなく幼い頃からの家庭や学校での継続した教育が重要である。

### 8-2 ピアサポート研究に対する提言

ピアサポートの効果については、行動との関連が明らかにされていない。本研究では、行動変容には内的要因と外的要因が影響するという立場のもと、ピアサポートにおける対象者の行動変容について外的・内的要因の2つの側面から検討し、それぞれの因子と行動の関係を明らかにした。このように対象者の行動変容までを視野に入れ、それに影響を与える因子との関係を導き出している研究は他に見当たらない。本研究はピアサポートがもつ効果を多面的に検討するうえでピアサポート研究の一助になったと考える。